

## 平成23年度私立学校初任者研修 北陸地区研修会実施報告

本年度の私立学校初任者研修北陸地区研修会が、8月3日（水）から5日（金）の3日間、福井パレスホテルで開催され、富山・石川・福井・長野の4県から44名の初任者教員が受講した。

まず、学校法人福井精華学園理事長、荻原昭人氏の講演「私学教員の心構え」で3日間の研修は幕を開けた。「あなたたちは、何のために教師になったのだ」という熱い問いかけに、緊張気味だった初任者たちも、次第に引き込まれていった。

次の研修は、日本私学教育研究所の中川武夫所長による講演「私学の現状と課題」である。私学と公立の違い・戦後教育の問題点・私学を取り巻く喫緊の課題・教員免許状更新講習の今後・不満を持つ保護者への対応等、内容は多岐にわたり、私学



にとって重要なことばかりだった。

2日目の午前中は、北陸高等学校教諭の櫻木裕丈氏による「情報教育」そして、同じく北陸高等学校スクールカウンセラーの河合君江氏の「カウンセリング」へと続いた。

教師に求められる資質の一つに、生徒との人間関係を構築する力がある。それらを学ぶため、実際に身体を動かしての実技が行われた。



午後からは、敦賀気比高等学校校長の菊崎俊一氏による「生徒指導」、そして福井工業大学附属福井高等学校校長の吉田五衛氏の「学習指導」が行われ、学校現場でのより実践的な内容へと入っていった。

その後、5つの班に分かれての分散会となり、「生徒指導・学級運営・特別教育活動」について、2時間にわたって自由討議が行われ、受講者たちは時を忘れて、教室での日々の悩みや問題点などを議論しあった。



最終日。日本私学教育研究所の山崎吉朗専任研究員によって講評がなされたのを最後に、3日間の研修を終了した。

(高山博通)